

ひなんじちゅうい 避難時に注意すること!

■地震から身を守る

屋内にいるとき

●ゆれがおさまるまで身の安全を確保!

窓やドアを開け、出口を確保しましょう。丈夫なテーブルや机の下に避難し身の安全を確保しましょう。

●火元、電源をオフ!

ゆれがおさまり安全を確認してから、ガスの元栓を閉め、ブレーカーの電源をオフにするなど、火災の発生を防ぎましょう。



●移動時は必ず靴をはこう!

ガラスや木片が飛び散ることが予想されます。室内の移動でも靴をはきましょう。

屋外にいるとき

●せまい道や塀に近づかない!

住宅地ではブロック塀、電柱、自動販売機などが倒れてくる可能性があります。そばからはなれるようにしましょう。電線にも注意しましょう。

●頭上にも注意!

街中ではビルのガラスが飛び散ったり、看板などが落ちてくる可能性があります。建物からはなれましょう。

●運転中もあわてない!

ゆっくりスピードを落とし、道路の左側に停止させてエンジンを切ります。ゆれがおさまるまでは車内で待機しましょう。車から離れる時は車のキーはつけたまま、ドアのロックをせずに、車検証などの貴重品を持っていきましょう。

■津波から身を守る

●ゆれがおさまったら高いところへ避難!

ゆれがおさまったら、高いところなど安全な場所へすぐに避難しましょう。

●第2波、第3波に注意!

津波はくり返し押し寄せ、第1波よりも第2波、第3波の方が高くなることもあります。津波警報や注意報が解除されるまでは警戒してください。

●小さなゆれでも注意!

ゆれが小さくても津波が来ないとは限りません。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。



ハザードマップを参考に、津波浸水想定区域、緊急避難場所、避難所、避難方向を確認しておきましょう。

■避難に関する注意

歩いて避難

車での避難は渋滞に巻き込まれて逃げ遅れたり、徒歩で避難する人の妨げになる場合があります。原則として「徒歩」で避難しましょう。

日頃からのポイント

- 避難行動要支援者の存在など、やむを得ず車で避難せざるを得ない場合もあります。
- 安全かつ確実に避難するための方法を、あらかじめ地域で検討しておきましょう。

隣・近所で協力避難

お年寄りや子供、身体に障害を持つ人など、手助けを必要とする人がいます。隣・近所で協力して避難をしましょう。また、できるだけ集団で避難するように心がけましょう。

日頃からのポイント

- いざと言う時に協力しあえるよう、隣・近所で声をかけあいましょう。
- 地域に住んでいる人の名簿があると、避難者の確認に便利です。
- 協力避難を行うためにも、日頃からのコミュニケーションが大切です。

